

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 30 年 11 月 15 日(2018.11.15)

【公表番号】特表 2017-533791(P2017-533791A)

【公表日】平成 29 年 11 月 16 日(2017.11.16)

【年通号数】公開・登録公報 2017-044

【出願番号】特願 2017-538477(P2017-538477)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/12

【手続補正書】

【提出日】平成 30 年 10 月 5 日(2018.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長手方向延伸縫合を体腔の壁に成形するとともに、縫合後の縫合部を解放するように構成されたブジーであって、

(a) 管腔壁と、

(b) 当該ブジーの外部に開口し、当該ブジーの内部からの吸引を受け入れるように構成され、かつ、前記管腔壁に沿って長手方向に延びた壁開口と、

(c) 1 ~ 2 mm 以下の屈曲半径で屈曲可能でありかつ当該ブジーの 2 つの領域間を横方向に通過してブロックとして機能する少なくとも 1 つの長手方向延在構成であって、前記屈曲可能ブロックは、ブロック位置を占有し、前記壁開口を複数の長手方向分離窓に分割する、長手方向延在構成と、

(d) 前記ブロックを前記ブロック位置から解放して、前記ブロック全体に延びた前記長手方向延伸縫合の解放を可能とするように動作可能な解放機構であって、前記長手方向延伸縫合の解放は、前記ブロックからの解放を含む、解放機構と、

を備えた、ブジー。

【請求項 2】

前記体腔が、胃である、請求項 1 に記載のブジー。

【請求項 3】

前記ブロックが、コードを備えた、請求項 1 または 2 に記載のブジー。

【請求項 4】

前記ブロックが、前記解放機構の一部が進入するループを備えており、前記ループからの前記解放機構の引き出しによって、前記ブロックが解放される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 5】

前記解放機構が、前記ブロックの前記部分に取り付けられ、前記解放機構を引っ張ることにより、当該ブジーとの係合から前記ブロックの端部が引き出される、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 6】

前記ブロックが、当該ブジーの長手軸に沿って軸周りに螺旋状に配置された、請求項 5 に記載のブジー。

【請求項 7】

前記ブロックが、扁平な断面プロファイルを有する、請求項 6 に記載のブジー。

【請求項 8】

前記長手方向分離開窓が、前記屈曲可能ブロックと交差する長手方向延伸ブロックにより分離された 2 つの長手方向延伸開窓カラムを備えた、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 9】

前記長手方向延伸ブロックが、当該ブジーの長手軸に沿った並進によってブロック位置から引き出されるように構成されており、前記交差領域において、前記屈曲可能ブロックを機械的に支持する、請求項 8 に記載のブジー。

【請求項 10】

前記長手方向延伸ブロックが、前記ブロック位置から引き出された場合に、前記屈曲可能ブロックの機械的支持を除去することによって、前記解放機構として機能する、請求項 9 に記載のブジー。

【請求項 11】

前記体腔が胃であり、前記 2 つの開窓カラムが、第 1 の開窓カラムおよび第 2 の開窓カラムに真空が適用された場合に、前記第 1 の開窓カラムが胃壁の第 1 の部分から組織を受け付け、前記第 2 の開窓カラムが胃壁の第 2 の対向部分から組織を受け付けるように構成されており、胃壁の前記第 1 および第 2 の部分が、当該ブジーを包む胃壁帯を介して接続された、請求項 8 ~ 10 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 12】

前記管腔壁が、胃への経口挿入用にサイズ規定され、前記胃の組織を壊すのに十分な当該ブジーへの真空圧に耐えるべく十分に強固である、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 13】

前記複数の長手方向分離開窓が、少なくとも 4 つの長手方向分離開窓を含む、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 14】

前記開窓が、前記壁により規定された軸方向管腔の外側の胃組織の少なくとも外層を維持しつつ、非穿孔縫合に適した量の前記胃組織を受け付けるようにサイズ規定された、請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 15】

前記量の胃組織が、2 mm ~ 6 mm の範囲の組織深さである、請求項 14 に記載のブジー。

【請求項 16】

前記開窓が、前記体腔の壁に沿って一様な縫合をガイドするように構成された、請求項 1 ~ 15 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 17】

前記開窓が、前記管腔壁の周りで螺旋状に前進する針が前記開窓に貫入する組織部を互いに縫合して胃スリーブを形成するように構成された、請求項 3 ~ 16 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 18】

撮像用の少なくとも直径 7 mm までのビデオ内視鏡を挿入可能とすべく十分に大きな内部管腔を有する、請求項 1 ~ 17 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 19】

縫合針を具備するキットが設けられた、請求項 1 ~ 18 のいずれか一項に記載のブジー。

【請求項 20】

前記解放機構は、当該ブジーの長手軸に沿って引っ張ることによって作動可能である、請求項 1 に記載のブジー。

【請求項 2 1】

前記屈曲可能ブロッカは、当該ブジーの長手軸に沿って延びてもいる、請求項 1 に記載のブジー。

【請求項 2 2】

長手方向延伸縫合を体腔部に成形するとともに、縫合後の縫合部を解放するように構成されたブジーであって、

当該ブジーの壁の内部から吸収を適用するときに縫合のために胃壁組織を受け付けるように構成された、当該ブジーの壁に沿った複数の開窓と、

1 ～ 2 mm 以下の屈曲半径で屈曲可能であり、かつ一对の前記開窓の間の分離を規定するブロッカとして機能するように位置決めされた少なくとも 1 つの長手方向延在構成と、
を備えた、ブジー。

专利名称(译)	腔内袖状胃形成		
公开(公告)号	JP2017533791A5	公开(公告)日	2018-11-15
申请号	JP2017538477	申请日	2015-10-08
[标]申请(专利权)人(译)	NITINOTES		
[标]发明人	ケレンデヴィル ドゥルガフィエカテリーナ ヤニヴィリット ウルフタミル スタロピンスキースラヴァ		
发明人	ケレン デヴィル ドゥルガフ イエカテリーナ ヤニヴ イリット ウルフ タミル スタロピンスキー スラヴァ		
IPC分类号	A61B17/12		
CPC分类号	A61B17/0469 A61B17/06066 A61B17/062 A61B2017/00557 A61B2017/00818 A61B2017/06076 A61B2017/0608 A61B2017/081 A61B2017/306 A61F5/0013 A61F5/0083		
FI分类号	A61B17/12		
F-TERM分类号	4C160/DD02 4C160/MM44		
优先权	PCT/IL2014/050893 2014-10-08 WO 62/147897 2015-04-15 US		
其他公开文献	JP2017533791A		

摘要(译)

描述了用于胃腔的腔内形成的装置和方法。在一些实施例中，保持足够的内部工作空间以允许在模板管腔内缝合，同时仍允许通过暴露于选定量的组织的气体波形仪来模板化胃袖和缝合线通路。